

【ドライウォッシュ】について

(はじめに)

弊社では、これまでドライクリーニングで苦手とされる「水溶性汚れ」を除去するため、チャージ用ソープに洗浄強化剤を添加していただく手法を推奨し、ご好評をいただいております。

しかし、洗浄強化剤の併用では、直接バッチ投入できないため、専用の投入機を設置して頂く必要があり、設置スペースがない場合には使用が難しく、また投入機を設置するためのコストもかかるといった問題がありました。

これらの問題点を解決するため、弊社では新たに「水溶性汚れ」の洗浄力に優れたチャージ用ソープ『**ドライウォッシュ**』を開発しましたのでご紹介します。

(併用処方との比較)

	ドライウォッシュ	併用処方(ソープ+洗浄強化剤)
特長	全品水溶性汚れの除去が可能	汗抜きしたいものをバッチ単位で選択できる
軽い水溶性汚れ	○	○
強い水溶性汚れ	○	◎
油性汚れ	○	○
投入機	不要	必要
標準使用量 (ソープ濃度 %)	0.5~1.0%	チャージソープ 0.3% 洗浄強化剤 15cc/衣類1kgあたり
作業性	◎	○
抗菌性	有	有

『**ドライウォッシュ**』は、従来のチャージ用ソープの性能（油性汚れの洗浄力、帯電防止力、逆汚染防止力）を維持しながら、ドライクリーニングでは除去が難しいとされている「水溶性汚れ」の洗浄力に優れたチャージ用ソープです。

従来の併用処方と比較すると、1バッチあたりのコストも大幅に下がり、また投入機を必要としません。

本号では、『**ドライウォッシュ**』と従来のチャージ用ソープとの洗浄力比較結果をご紹介します。

【洗浄方法】

以下の条件で、弊社ラウンダーメーターを使用し、洗浄試験を行いました。

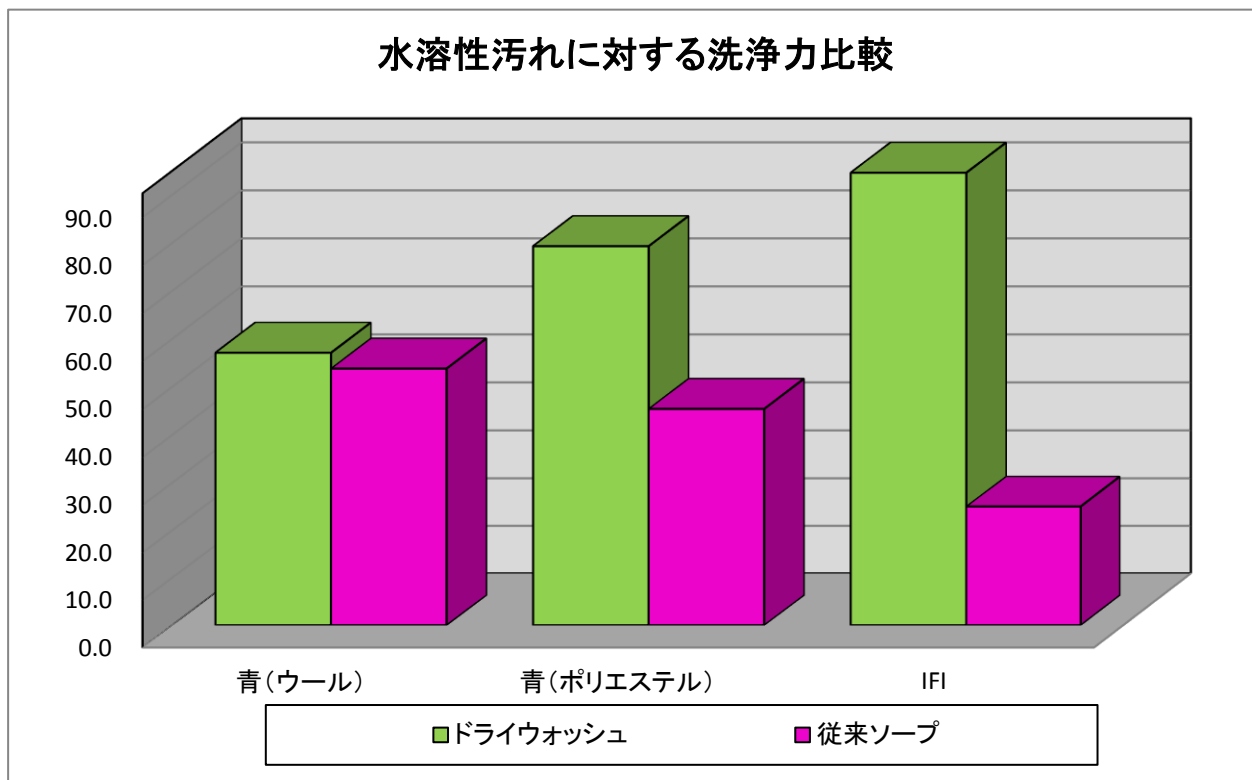
溶剤	エクソールD-40
洗浄時間	15分
スチールボール	30個
ソープ濃度	標準使用濃度 (ドライウォッシュ 0.5%, 従来ソープ 0.3%)
汚染布	青色 (ウール、ポリエステル)、IFI、シミ試験布

【結果】 *裏面参照

「水溶性汚れ」に対して、ドライウォッシュは従来のチャージ用ソープより高い洗浄効果を発揮しています。

	青(ウール)	青(ポリエステル)	IFI
ドライウォッシュ	57.1	79.3	94.6
従来ソープ	53.8	45.4	25.0

□ 水溶性汚れに対する洗浄力比較



青(ウール)： 水溶性青色色素をウール布に付着させたもの。汗などの水溶性汚れの指標。
 青(ポリエステル)： 水溶性青色色素をポリエステル布に付着させたもの。汗などの水溶性汚れの指標。
 IFI： 米国 IFI研究所製の水溶性汚れ洗浄試験布。青色色素は食用色素。

□ シミに対する洗浄力比較

